



^13
4437
4



遠山奇談卷之四

○才十六章

おの伊方と伊予一帯にして
ゆきあふく岩をふりかきし

らうと率のしう都一みたり
てきりくふ寛政と改りし
凡そとて下目二人僕とて
路の案内うづらむとて
とてとて遠山の強盗
山別ぬしとて喰ひの
とてとてとてとて小畑村
あふくけりとのい入の
てきりくふ寛政と改りし
凡そとて下目二人僕とて
路の案内うづらむとて
とてとて遠山の強盗
山別ぬしとて喰ひの
とてとてとてとて小畑村
あふくけりとのい入の





○才十七章

岩をふちひもろくほへつれうり
大物につらまけふと考ふる事

白^{ゆき}ふうた^た暑^{あつ}る^るを^をや^やし^しふ^ふ晴^は岩^い者^わら^らん^んさ^さら^らふ^ふ力^ちか^かさ^さ
は^はと^とは^はく^くさ^さー^ーと^とは^はい^いく^く見^み村^{むら}置^ぎ一^{いっ}切^{せき}し^しと^とあ^あり^りこ^こと
か^から^らく^くも^も出^でれ^れん^んと^とさ^さー^ーに^に年^{ねん}あ^あり^りよ^よふ^ふ向^{むか}ひ^ひの^の岩^いの^のさ^さに
い^いや^やん^んく^くげ^げか^かけ^ける^ると^とか^かん^ん情^{じやう}け^けち^ちを^をも^もん^んふ^ふた^たー
う^うふ^ふ岩^い者^わら^らん^んさ^さら^らふ^ふと^とけ^け皆^{みな}く^く走^{はし}り^りふ^ふい^いふ^ふく
岩^い者^わら^らん^んい^いづ^づれ^れも^もあ^あは^はの^のち^ちひ^ひふ^ふと^と岩^い者^わの^の側^{がは}へ^へ岩^い原^{はら}
ふ^ふ岩^い者^わら^らん^んさ^さら^らふ^ふと^とり^りみ^みと^と池^{いけ}へ^へ寄^より^りと^とう^うら^らひ^ひし
か^かん^んと^とり^り池^いへ^へふ^ふ寄^より^りの^のと^とを^をう^うら^らん^んき^き決^{けつ}と^とそれ^{それ}が^が池^いも
乱^{らん}衣^い叢^{そう}も^も後^ごび^び破^{やぶ}れ^れと^と眼^{まなこ}血^ちを^をね^ねぬ^ぬの^のど^どく^く笑^{わら}ふ

山崎の巻

七

と修りたる天狗の凡^た廣^く鬼^のの^たく^は慢^心の^く我^に
道^にと^し終^つ死^す一^つの^の魔^界の^に墮^つ一^つ天^狗
ろ^う一^つの^の鬼^天魔^一ろ^うの^の我^慢心^とた^らの^のれ^と
色^と怒^とま^はく^き一^つの^の先^きも^をの^りみ^らふ^所
あ^もも^のて^なむ^とあ^とて^て天^狗あ^がと^せく^すく^ふき^の一^つ天^狗
物^のの^のし^らく^しと^又矢^指と^れぬ^まる^まと^全く^おも^せら^ぬ
慢^心も^うれ^ばま^よら^ず天^狗つ^つも^れあ^めら^ずと^もあ^らざ^らず
天^狗の^のあ^げて^かぎ^ご一^つ又^慢心^と流^ひて^天物^の首^をぬ^く
あ^がじ^るも^もあ^らず^一の^のゆ^ふひ^じぬ^くも^あら^ず
と^一ん^ふ冬^夏の^の依^りの^しら^くま^のの^の流^れも^あら^ず
と^一ん^ふ冬^夏の^の依^りの^しら^くま^のの^の流^れも^あら^ず

同^じありに^て教^の百^のの^の傍^にあ^れば^もこ^れも^もと^で對^す
あ^らう^と我^の日^の回^る海^の流^れあ^らう^と廊^下之^の人^のの^の換^り
あ^らう^と世^の諸^の僧^とと^とく^も中^の一^つの^の場^もと^とり^のの^の場^もと^とり^の
と^も老^の換^りの^のも^もと^とり^の場^もと^とり^のけ^の中^のの^の場^もと^とり^の
ま^らる^僧も^もた^とと^と不^の圖^の慢^心と^れい^はふ^もあ^らず^もあ^らず^も
と^く大^の衣^とと^とる^僧と^との^の知^識と^と流^れと^とる^正面^のの^の曲^もも
一^つが^もれ^も一^つの^の小^のの^の流^れの^の流^れと^とる^正面^のの^の曲^もも
も^もと^とり^のの^の老^のの^のに^に我^の魔^の流^れと^とる^正面^のの^の曲^もも
物^とと^とり^のの^の月^のの^の中^のの^の天^のと^とり^のの^の偈^のの^の物^とと^とり^の
流^れと^とり^のの^の忽^とと^とる^未換^りと^とる^同じ^の物^とと^とり^の

一〇二四

一〇二四

神とらうしちひりき廊下の欄干をわたりて
けしきにまはりてはめりしとくはと老へてに魔界
つひて天魔の首領ふらんとせり
○才十八章 天物のしとひりて
けりしとくはめりしとくはと老へてに魔界
つひて天魔の首領ふらんとせり

けりしとくはめりしとくはと老へてに魔界
つひて天魔の首領ふらんとせり
○才十八章 天物のしとひりて
けりしとくはめりしとくはと老へてに魔界
つひて天魔の首領ふらんとせり

是神老よりうのしとひりて
見ふりて常懸懸小柱剛とさう
はくごちよ天地の回子
あつたつたの威小
よみへうすも盛とさう
けりしとくはめりしとくはと老へてに魔界
つひて天魔の首領ふらんとせり



一はわし。おらうとてぐぐべけ十六人。いふを
 みる一度に聲と会く。如くかん。我く雪舞の歌
 の方へ斬くも。いふ会すも。危きと改う。
 皆く装束く。けり。一は斬く。され。けり。もの
 腰抱も。あり。いふ。が。も。と。ま。る。ふ。小。座。の。づ。く。う。ま。の
 ちりぬ。首の。首の。二人の。命。取。の。能。い。が。つかふ。う。ら。ま
 けり。さて。中。う。る。も。も。人。教。と。改。り。う。る。り。だ。に。け。し。の
 性。我。あ。れ。も。屋。入。り。の。い。ふ。あ。い。だ。も。の。首。と。う。り。が
 て。い。り。し。像。は。る。年。子。も。ん。ん。り。日。の。日。月。の。ぐ。く。光。り
 いと。ひ。き。ひ。く。の。珠。の。誠。の。一。番。も。も。の。ぐ。く。の。い。ふ。

おもひ。わ。り。を。れ。と。命。の。い。ふ。だ。り。て。斬。く。あ。い。せ。り。ま。ま
 り。る。ふ。な。つ。雪。舞。も。も。の。び。と。たり。と。焼。火。と。つ。け。し
 本。張。と。さ。う。ひ。体。も。り。ふ。た。ら。ふ。夜。も。あ。り。け
 一。張。役。中。の。若。さ。も。も。の。た。も。雪。の。も。れ。と。れ。も。く。と
 く。せ。り。あ。り。あ。り。ま。ま。と。我。の。小。座。の。紅。の。十。六。人。小。力
 と。さ。く。と。い。ふ。わ。り。け。り。此。小。座。を。送。り。に。あ。り。と。れ。と。り
 ま。も。の。あ。い。九。せ。る。も。長。し。と。ま。り。と。い。ひ。あ。り。い。ふ。ま。ま
 首。の。大。さ。と。う。れ。が。ら。ま。も。せ。よ。大。お。く。首。の。貫。中。首。の
 骨。の。骨。の。け。り。は。い。と。さ。る。あ。い。と。い。ふ。ま。ま。と。い。ひ
 に。中。の。人。と。て。娘。と。う。れ。が。ら。の。い。ふ。と。い。ふ。

秘のふたりの...
 ...
 ...
 ...
 ...

平安寺香堂藏

を山寺法卷之四右尾

改申

蓮如大御正記繪巻

中...
 ...
 ...

金森道西いろは

蓮師の中...
 ...
 ...

まま安いろは分繪扱

まま安いろは...
 ...
 ...

...

寛政十年戊午四月發行

平安書林

寺町四茶上町
 寺町六角南角
 錢屋利兵衛
 著屋甚物

